

1. 活動の概要

6月27日(金)、安来市立布部小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに、安来市教育委員会文化財課の職員から、広瀬や布部の歴史、特に尼子氏と毛利氏との戦いについて話を聞きました。児童は自分たちの小学校のすぐそばで行われた布部合戦の話に興味深そうに聞き入っていました。

次に、埋蔵文化財調査センター職員から古代の玉についての説明を受けました。玉の種類やつくり方だけでなく、特定の人物が身に着けていたことなどを実物や人物植輪にみられる装いをとおして学習しました。

布部の古墳から出土した勾玉や土器、尼子氏が活躍したころの城下町から見つかった陶磁器など、普段手にとって触ることのできない本物の遺物にさわりながら、心はすっかりタイムトリップしている様子でした。

続いて体験用勾玉の作り方について説明を聞いたのち、滑石を使って体験活動を行いました。手が疲れたり、思うような形にならず悪戦苦闘しながらも、終了までには全員がほぼ完成に近いところまで仕上げることができました。塾が終わったあとも玉磨きの時間を少しだけ設けられたようで、児童は納得のいく作品をつくることができました。

2. 活動の様子

尼子氏は中国地方を勢力下において・・・



尼子も頑張ったんだ

勾玉を磨いた本物の砥石だ！



つーっ！つーっ！だ！

おわっ！おわっ！



内側を磨くのが難しい・・・

先生も児童たちと一緒に玉づくりに熱中！

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- 勾玉づくり体験ができて楽しかったです。
- 今のように良い道具がないのにきれいに磨いて、昔の人はすごいと思いました。
- 安来市の古墳や尼子のこと(歴史)についてもっと知りたいです。
- 普段さわることのできない出土品に触れることができてうれしかった。
- 管玉づくりをしてみたいです。
- 縄文土器など他の時代の土器を見てみたい。
- 合戦場が近くにあり驚きました。
- 布部のいろいろな遺跡(古墳や城跡、製鉄遺跡など)に行ってみたい、知りたい。

2) 担任の先生から…

- 地元の歴史なのによく知らない尼子氏と毛利氏との合戦こと、広瀬に尼子氏という一大勢力がいたことなどを分かり易く話してもらえた。
- 本物の遺物を持ってきてもらい、実際に手に取って触れたりすることができたことがたいへん良かった。
- とても良い企画だと思うので、できるだけ多くの学校で回数が多くできるようになるとよい。
- パワーポイントを使うなど、とても工夫してあり良いが、やや専門的で小学生には難しい部分もあった。ほんの初歩的な内容・簡単な部分だけの抜粋ができればよいと思う。

3) 埋文センターから

児童たちは布部にも古墳や城跡など、遺跡がたくさんあることを知って驚いた様子でした。また、今回用意した勾玉が、学校のそばの古墳からみつかったことを話した時には反応も少し違ったように思えました。地元の素材を活用する事の重要性を感じました。先生との事前の打ち合わせで、6月末は武士の時代を授業している頃なので尼子氏についても取り上げることになりましたが、教科書では大きく扱われない地元の戦国武将の話だけに、とても興味津々といった感じで、身近なところにも歴史が刻まれていることを感じたのではないのでしょうか。遺跡や出土品など、地域に残された貴重な遺産がほんの少しでも歴史学習に活用され、子ども達の学習意欲の向上、さらには地元への誇りや自信へとつながっていけばと思います。

玉作り体験は限られた時間内での作業であったため児童によって完成度はまちまちでしたが、納得いくまで苦労して磨いた分、完成したときの喜びも一入だったのでないでしょうか。

一方、説明の部分でやや専門的で難しいところがあったという先生からのご意見は、自覚しながらもなかなか改善できないところとして反省し、次回以降につなげていきたいと考えています。